



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月10日

上場会社名 株式会社北洋銀行 上場取引所 東 札
 コード番号 8524 U R L <https://www.hokuyobank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 津山 博恒
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営企画部長 (氏名) 野際 卓司 (TEL) 011-261-1311
 配当支払開始予定日 2026年3月6日
 特定取引勘定設置の有無 無
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	139,610	28.2	29,357	65.8	20,413	62.1
	108,876	11.7	17,696	34.6	12,586	25.5

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 26,304百万円 (-%) 2025年3月期第3四半期 △25,750百万円 (-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	54.21	54.21	54.21
2025年3月期第3四半期	32.87	32.86	32.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%
2025年3月期	13,333,715	401,052	2.9
	13,446,736	384,411	2.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 396,895百万円 2025年3月期 380,465百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 一	円 銭 6.50	円 銭 一	円 銭 12.50	円 銭 19.00
2026年3月期	6.50	6.50	6.50		
2026年3月期(予想)				6.50	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
通期	百万円 212,800	% 41.2	百万円 36,200	% 28.9	百万円 24,300	% 17.9	円 銭 64.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	378,060,179株	2025年3月期	399,060,179株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	1,565,019株	2025年3月期	22,520,864株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	376,514,883株	2025年3月期 3Q	382,901,149株

(注) 当行は役員報酬BIP信託を導入しています。このため期末自己株式数には、当該信託が保有する当行株式（2026年3月期 3Q 1,208,236株、2025年3月期 1,165,036株）を含めております。また、期中平均株式数については、当該信託が保有する当行株式の期中平均株式数（2026年3月期 3Q 1,189,036株、2025年3月期 3Q 1,220,347株）を控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・決算補足説明資料は、四半期決算短信に添付しております。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P. 2 「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(重要な後発事象の注記)	8

※2026年3月期 第3四半期決算説明資料

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、経常収益は、貸出金利息等の増加による資金運用収益の増加及び株式等売却益の増加によるその他経常収益の増加を主因に前第3四半期連結累計期間比307億円増加し、1,396億円となりました。一方、経常費用は、預金利息の増加による資金調達費用の増加、営業経費の増加及び国債等債券売却損の増加によるその他業務費用の増加を主因に前第3四半期連結累計期間比190億円増加し、1,102億円となりました。

これらの結果、経常利益は前第3四半期連結累計期間比116億円増加し、293億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前第3四半期連結累計期間比78億円増加し、204億円となりました。

なお、セグメントの業績につきましては、銀行業の経常収益は前第3四半期連結累計期間比292億円増加し1,182億円、経常利益は同113億円増加し286億円となりました。また、リース業の経常収益は前第3四半期連結累計期間比9億円増加し185億円、経常利益は6億円と同微増となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、現金預け金は1兆8,992億円と前連結会計年度比7,544億円減少いたしました。貸出金は8兆3,940億円と前連結会計年度比5,378億円増加いたしました。預金及び譲渡性預金は10兆9,805億円と前連結会計年度比1,898億円減少いたしました。有価証券は2兆6,571億円と前連結会計年度比584億円増加いたしました。借用金は9,199億円と前連結会計年度比201億円増加いたしました。債券貸借取引受入担保金は7,821億円と前連結会計年度比191億円減少いたしました。

これらの結果、総資産は13兆3,337億円と前連結会計年度比1,130億円減少し、負債は12兆9,326億円と同1,296億円減少、純資産は4,010億円と同166億円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の業績予想につきましては、2026年1月29日公表の数値から変更ありません。

なお、この業績予想は当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
現金預け金	2,653,639	1,899,234
コールローン及び買入手形	516	419
買入金銭債権	6,828	6,290
商品有価証券	1,763	1,671
有価証券	2,598,690	2,657,181
貸出金	7,856,186	8,394,023
外国為替	5,803	5,287
リース債権及びリース投資資産	61,165	63,176
その他資産	132,680	172,977
有形固定資産	71,675	74,338
無形固定資産	15,847	14,348
退職給付に係る資産	1,811	1,929
繰延税金資産	14,884	11,354
支払承諾見返	68,166	74,183
貸倒引当金	△42,921	△42,699
資産の部合計	13,446,736	13,333,715
負債の部		
預金	11,096,231	10,703,399
譲渡性預金	74,198	277,197
売現先勘定	—	6,041
債券貸借取引受入担保金	801,284	782,144
借用金	899,888	919,997
外国為替	161	540
その他負債	114,947	162,808
賞与引当金	1,536	412
株式給付引当金	159	220
退職給付に係る負債	1,487	1,418
睡眠預金払戻損失引当金	895	766
ポイント引当金	306	321
特別法上の引当金	19	19
繰延税金負債	1,267	1,430
再評価に係る繰延税金負債	1,775	1,761
支払承諾	68,166	74,183
負債の部合計	13,062,325	12,932,663
純資産の部		
資本金	121,101	121,101
資本剰余金	74,753	74,742
利益剰余金	193,187	196,122
自己株式	△8,351	△495
株主資本合計	380,690	391,470
その他有価証券評価差額金	△3,661	2,059
土地再評価差額金	3,378	3,350
退職給付に係る調整累計額	58	14
その他の包括利益累計額合計	△224	5,425
新株予約権	14	14
非支配株主持分	3,931	4,142
純資産の部合計	384,411	401,052
負債及び純資産の部合計	13,446,736	13,333,715

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
経常収益	108,876	139,610
資金運用収益	62,483	84,519
(うち貸出金利息)	48,197	64,622
(うち有価証券利息配当金)	10,593	12,423
役務取引等収益	22,589	23,337
その他業務収益	18,869	20,688
その他経常収益	4,933	11,065
経常費用	91,179	110,253
資金調達費用	4,852	17,511
(うち預金利息)	3,592	13,251
役務取引等費用	10,236	10,903
その他業務費用	21,578	24,353
営業経費	51,008	54,206
その他経常費用	3,503	3,278
経常利益	17,696	29,357
特別利益	9	19
固定資産処分益	9	19
特別損失	394	432
固定資産処分損	197	378
減損損失	196	54
税金等調整前四半期純利益	17,311	28,944
法人税、住民税及び事業税	3,826	7,415
法人税等調整額	996	1,176
法人税等合計	4,823	8,591
四半期純利益	12,488	20,352
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△98	△61
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,586	20,413

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	12,488	20,352
その他の包括利益	△38,238	5,952
その他有価証券評価差額金	△38,008	5,996
退職給付に係る調整額	△230	△43
四半期包括利益	△25,750	26,304
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△25,206	26,091
非支配株主に係る四半期包括利益	△544	213

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	87,081	17,323	104,405	4,471	108,876	△0	108,876
セグメント間の内部経常収益	2,002	301	2,303	2,063	4,367	△4,367	—
計	89,084	17,624	106,708	6,535	113,244	△4,367	108,876
セグメント利益	17,319	631	17,951	943	18,894	△1,197	17,696

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、信用保証業を含んでおります。

3. 外部顧客に対する経常収益の調整額△0百万円は、貸倒引当金戻入益の調整であります。

4. セグメント利益の調整額△1,197百万円には、セグメント間取引消去等が含まれております。

5. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「銀行業」セグメントにおいて、稼働資産（土地、建物等）及び遊休資産（土地、建物等）について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、196百万円であります。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	116,510	18,214	134,725	4,905	139,630	△19	139,610
セグメント間の内部経常収益	1,778	384	2,163	2,171	4,334	△4,334	—
計	118,289	18,599	136,888	7,076	143,965	△4,354	139,610
セグメント利益	28,638	654	29,293	963	30,256	△899	29,357

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、信用保証業を含んでおります。
3. 外部顧客に対する経常収益の調整額△19百万円は、貸倒引当金戻入益の調整であります。
4. セグメント利益の調整額△899百万円には、セグメント間取引消去等が含まれております。
5. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「銀行業」セグメントにおいて、稼働資産（土地、建物等）及び遊休資産（土地、建物等）について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、54百万円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当行は、2025年4月30日開催の取締役会決議に基づき、2025年5月30日付で自己株式21,000,000株の消却を実施したことにより、資本剰余金及び自己株式がそれぞれ7,885百万円減少しました。

自己株式の消却により、資本剰余金のうちその他資本剰余金の残高が△7,875百万円となったため、その他資本剰余金を零とし、当該負の値をその他利益剰余金から減額しております。

この結果等により、当第3四半期連結会計期間末において、利益剰余金は前連結会計年度末から2,935百万円増加し196,122百万円、自己株式は7,856百万円減少し495百万円となりました。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	7,474百万円	7,706百万円

(重要な後発事象の注記)

自己株式の取得について

当行は2026年1月29日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

総還元性向50%を目処とした自己株式の取得により、資本効率の向上を通じて株主の皆さまへの総合的な利益還元の充実を図るため。

2. 自己株式取得に関する決議内容

- | | |
|----------------|---|
| (1) 取得する株式の種類 | 普通株式 |
| (2) 取得する株式の総数 | 3,200,000株（上限）
(発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合0.84%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 2,400百万円（上限） |
| (4) 取得期間 | 2026年2月13日～2026年3月31日 |
| (5) 取得の方法 | 東京証券取引所における市場買付 |

2026年3月期 第3四半期決算説明資料

1. 損益状況【単体】

- ・コア業務純益は、資金利益の増加を主因としたコア業務粗利益の増加などから、前年比69億円増加の272億円となりました。
- ・経常利益は、286億円と前年比113億円の増加となりました。
- ・四半期純利益は、203億円と前年比76億円の増加となりました。

(単位：百万円)

	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	前年比	2025年度通期 (業績予想)
経常収益	89,084	118,289	29,205	184,200
コア業務粗利益	68,393	77,871	9,478	107,900
資金利益	59,225	68,428	9,203	
役務取引等利益	7,978	7,472	△506	
その他業務利益（注1）	1,188	1,969	781	
経費（除く臨時処理分）	48,055	50,587	2,532	68,700
コア業務純益（注2）	20,337	27,283	6,946	39,200
除く投資信託解約損益	20,337	27,283	6,946	
貸倒債却引当費用	1,394	1,547	153	4,000
有価証券関係損益	△2,990	1,089	4,079	
国債等債券関係損益	△5,805	△7,754	△1,949	
株式等関係損益	2,814	8,843	6,029	
その他の経常損益	1,367	1,812	445	
経常利益	17,319	28,638	11,319	35,200
特別損益	△384	△412	△28	
税引前四半期純利益	16,934	28,226	11,292	
法人税等	4,225	7,834	3,609	
四半期（当期）純利益	12,708	20,391	7,683	24,200
実質業務純益	14,532	19,529	4,997	
業務純益	15,591	19,044	3,453	

(注) 1. その他業務利益は国債等債券関係損益を含みません。

2. コア業務純益＝コア業務粗利益－経費（臨時処理分を除く）

2. 主要勘定等残高（平均残高・期末残高）【単体】

- ・資金量平残は、10兆9,463億円と前年比167億円の増加となりました。うち法人預金は前年比265億円の減少、個人預金は同461億円の増加、地方公共団体・金融預金は同28億円の減少となりました。
- ・資金量末残は、10兆9,956億円と前年比273億円の増加となりました。
- ・預り資産末残は、3,799億円と前年比793億円の増加となりました。

(1) 資金量・預り資産等

(平均残高)

	2024/12期	2025/12期	前年比
資金量	109,296	109,463	167
法人預金	30,520	30,254	△265
個人預金	69,840	70,301	461
地方公共団体・金融預金	8,935	8,907	△28

(単位：億円)

2025/9期	2025/9期比
109,606	△142
30,390	△135
70,267	33
8,947	△40

(期末残高)

	2024/12末	2025/12末	前年比
資金量	109,683	109,956	273
預り資産	3,006	3,799	793
公共債保護預り	1,406	1,839	432
投資信託	1,599	1,960	360
合計	112,689	113,756	1,066

(単位：億円)

2025/9末	2025/9末比
108,986	970
3,530	269
1,758	80
1,771	188
112,517	1,239

(注) 資金量=預金+譲渡性預金

- ・貸出金平残は、事業者及び個人で増加したことから、8兆1,646億円と前年比5,938億円の増加となりました。
- ・貸出金末残は、8兆4,693億円と前年比6,105億円の増加となりました。うち中小企業等貸出金は、前年比2,366億円の増加、北海道内向け貸出金は同1,894億円の増加となりました。
- ・有価証券末残は、2兆6,571億円と前年比145億円の増加となりました。

(2) 貸出金
(平均残高)

	2024/12期	2025/12期	前年比
貸出金	75,707	81,646	5,938
事業者	31,304	36,664	5,359
個人	22,510	23,119	609
地方公共団体等	21,893	21,862	△30

(単位：億円)

2025/9期	2025/9期比
80,786	859
35,752	911
23,020	98
22,013	△151

(注) 地方公共団体等には国及び土地開発公社を含む

(期末残高)

	2024/12末	2025/12末	前年比
中小企業等貸出金	43,880	46,247	2,366
貸出金	78,588	84,693	6,105
北海道内向け貸出金	60,295	62,189	1,894

(単位：億円)

2025/9末	2025/9末比
44,431	1,815
82,241	2,452
60,998	1,191

(3) 有価証券

(期末残高)

	2024/12末	2025/12末	前年比
有価証券	26,425	26,571	145

(単位：億円)

2025/9末	2025/9末比
26,358	212

3. 自己資本比率（国内基準）

2025年12月末の自己資本比率（国内基準）については、現在算出中であり、計数が確定次第、別途開示する予定です。

4. 有価証券の評価損益

- ・有価証券評価損益は、△22億円と2025年9月末対比153億円の減少となりました。

【単体】

(単位：億円)

	2025/9末			2025/12末			
	評価損益	評価益	評価損	評価損益	2025/9末比	評価益	評価損
その他有価証券	130	1,237	1,106	△22	△153	1,248	1,271
株式	1,059	1,059	0	1,031	△27	1,032	0
債券	△1,097	0	1,098	△1,262	△165	0	1,263
その他	169	177	8	208	39	216	7
日経平均株価 新発10年国債利回り		44,932円 1.645%			50,339円 2.060%		

5. 銀行法及び金融機能の再生のための緊急措置に関する法律に基づく債権

- ・当該債権は、904億円と前年比28億円の減少となりました。
- ・開示債権比率（部分直接償却後）は、0.85%と前年比0.04ポイント改善いたしました。

【単体】

(単位：億円)

	2024/12末	2025/12末	前年比	2025/9末	2025/9末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	388	317	△70	324	△7
危険債権	440	467	26	461	5
要管理債権	103	119	15	114	4
三月以上延滞債権	3	5	2	2	3
貸出条件緩和債権	100	113	12	112	1
合計	932	904	△28	900	3
部分直接償却後	713	734	21	728	6
正常債権	79,255	85,368	6,113	82,906	2,462
総与信額	80,188	86,273	6,085	83,807	2,466
部分直接償却後	79,968	86,103	6,134	83,634	2,468

<総与信に占める開示債権の比率>

(単位：%)

開示債権比率	1.16	1.04	△0.12	1.07	△0.03
部分直接償却後	0.89	0.85	△0.04	0.87	△0.02

(注) 部分直接償却は未実施ですが、参考として部分直接償却を実施した場合の計数を記載しております。